

# 第21回全国障害者スポーツ大会「三重とわか大会」リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会ボウリング 競技実施要領

## 1 競技規則

令和3年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 競技方法

- (1) 試合の方法は、デュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技は、すべてスクラッチ2ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。  
※ 順位決定の際、同点の成績の場合は規定に基づきゲームローハイにて決定する。
- (3) 原則として、ゲームは1ボックス（2レーン）8名までとし、1フレームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う2つのレーンで10分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラーの操作及び個人記録カードの記入は、すべて競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべて競技役員の指示で行う。

## 3 服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をするうえで支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。
- (3) 番号布（ゼッケン）は、主催者が交付したものを胸部及び背部に付ける。

## 4 招集

- (1) 受付後、指定されたボックスに招集し、Aグループの選手は開始式の開始10分前、Bグループの選手は投球練習の開始10分前に完了する。
- (2) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。

## 5 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、Aグループの競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、各グループの競技終了後に競技会場で行う。

## 6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (2) ボウラーズエリアへの立ち入りは、選手、競技役員及び競技補助員のみとする。ただし、あらかじめ主催者の許可を得た介助者は、競技役員の指示によりボウラーズエリア内への立ち入りを認める。  
※ 競技役員は、競技を観戦する者がボウラーズエリア内へ立ち入らないよう注意する。
- (3) 競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用しようとする場合は、参加

申込書にその旨を記載し、主催者が競技会場において用意する。

ア ハウスシューズは、主催者が所定の場所に用意し、選手はボウラースベンチ後方の通路で履き替える。

イ ハウスボールは、主催者が所定の場所に用意し、選手は競技終了後、速やかに元の場所に返却する。

(4) ボールを拭くタオルは、選手自ら用意すること。

(5) 競技上不明な点は、競技本部に問い合わせること。

(6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

(7) 参加者は、主催者が定めた新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを遵守すること。